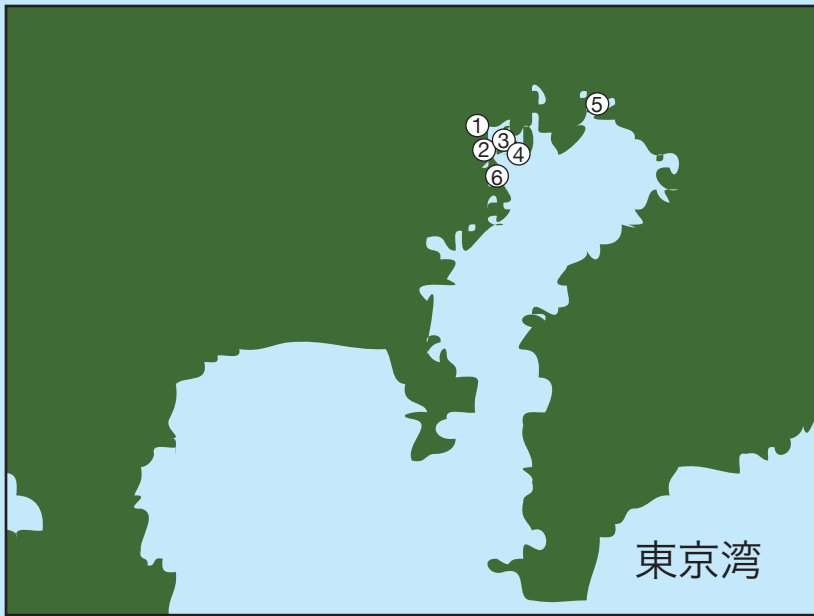


# Amamo2023およびJ-COASTの開催

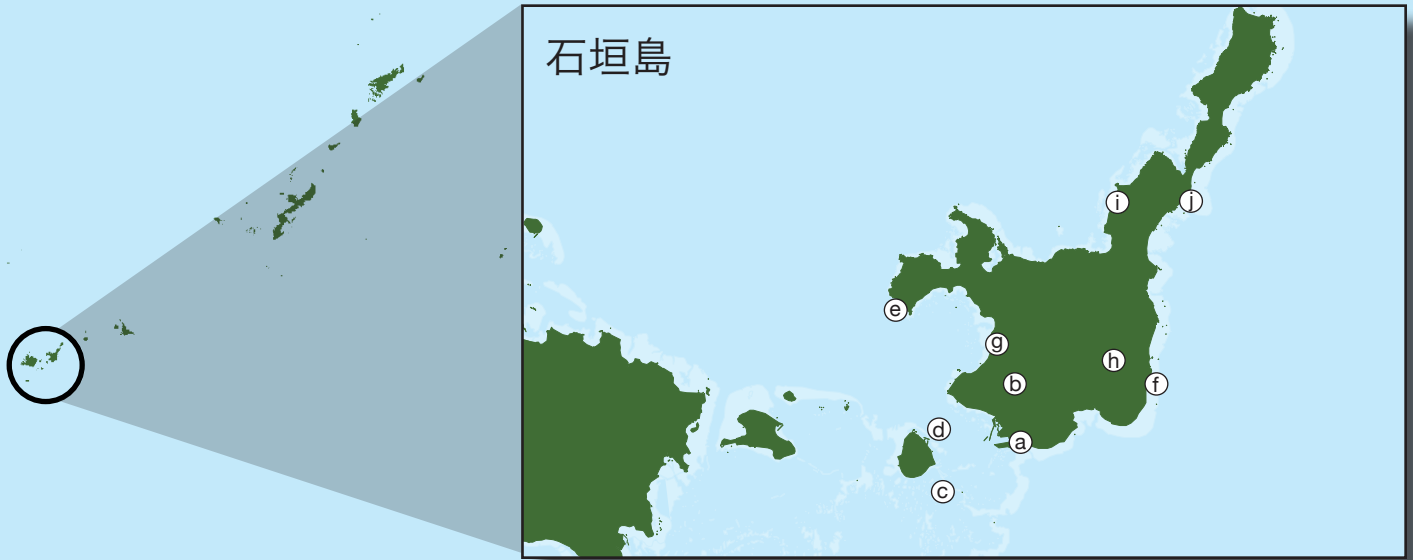




1. 笹川平和財団
2. 竹芝干潟
3. 浜離宮恩賜庭園
4. お台場海浜公園
5. ふなばし三番瀬環境学習館
6. 大森 海苔のふるさと館



- a. 国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター
- b. バンナ公園展望台
- c-e. サンゴ礁、シュノーケリング地点
- f. 白保海岸
- g. 名蔵アンパル(マングローブ林)
- h. 農地・畜産
- i. 吹通川のマングローブ林
- j. 玉取崎展望台



# ブルーカーボン研究の進展

11月17日～19日に東京都港区の笹川平和財団国際会議場ならびに、オンラインで開催された「国際アマモ・ブルーカーボンワークショップ2023 (Amamo2023)」及び11月19日～21日に同会議場及び関連会場で開催された「国際COASTカードワークショップ (J-COAST)」が盛況のうちに終了しましたことを心より御礼申し上げます。



パネルディスカッションに参加する基調講演者(左)、ポスターとCOASTカードの資料展示(中央)、控室での昼食休憩(右)

最初の3日間は国際会議場でAmamo2023ワークショップが開催され、基調講演、口頭発表セッションや参加型ワークショップが行われました。基調講演は9件あり、アブドラ王立科学技術大学 (KAUST) のカルロス・ドゥアルテ教授は「ブルーカーボン生態系を保全する国際的・学術的動向」について、メリーランド大学環境科学センターのウィリアム・デニソン教授は「COASTカードの概要: 持続可能な沿岸地域づくりのための社会変革」について講演しました。



小学3年生の瀬之上綾音さんがデザインしたアマモ2023のロゴ

4つの口頭発表セッションでは、ブルーカーボン生態系の回復と保全のための実践の最前線について興味深い発表がなされました。セッション1では、漁業者、企業、市民の参加、セッション2では、市民と若者の参加、セッション3では、科学コミュニケーション、セッション4では、各国での実践が紹介・議論されました。3日間のワークショップイベントは、ハイブリッド形式で開催され、約500人が現地で参加し、延べ2,600人の参加者がオンラインで視聴しました。アーカイブされたビデオと、会場・オンラインで意見を頂いて確定されたAmamo2023宣言は、以下のWebサイトで閲覧可能です (<https://amamo2023.com>)。

Amamo2023の口頭発表セッションに加えて、参加者は参加型ワークショップに参加し、「Get the Grade Game」という環境問題に関係する人々の役割を疑似体験するロールプレイングゲームを実施しました。このゲームは日本語に翻訳されており、高校生から大人までが一緒にテーブルでプレイすることができ、優勝テーブルには賞品が用意されていたため、国内外からの参加者は、生態系を健全なものにし、最高グレードを獲得しようと懸命に取り組んでいました。



参加者は「Get the Grade game」ゲームをプレイ



# COAST カードチームによる東京湾探訪

COASTカードチームは東京湾を探訪しました。最初に、様々な市民参加イベントが開催される竹芝干潟(2)を訪れました。そこでは、竹芝干潟の歴史を管理者である竹芝タウンデザインの星川誌が、水質観測やプランクトン観測のことをCOASTカードチームのメンバーでもある古川氏が説明しました。



水質調査のデモンストレーションを見学(左)、2024年の目標を議論するCOASTカードチーム(中央)、浜離宮恩賜庭園の樹齢300年の松(右)

その後、COASTカードチームは数時間かけて、このワークショップの成果のとりまとめや、COASTカード・プロジェクトの最終成果について議論を行いました。浜離宮恩賜庭園(3)では、伝統的な日本家屋に車座になり、自分たちが学んだこと、このプロジェクトがもたらす影響について話し合いました。その後、庭園内にある伝統的な茶室を訪れ、お抹茶とお菓子をいただき、庭を散策し、日本で最古の造成湿地を堪能しました。

東京湾探訪の最終日、COASTカードのメンバーと関係者はお台場海浜公園(4)を訪れ、公園の歴史や整備について、東京都港湾局の方々からの説明を受けて学びました。また、ふなばし三番瀬環境学習館(5)を訪れ、多様で充実した学習ツアーを体験しました。同学習館は、体験型のデジタルゲームやシミュレーションを通じて、環境科学の教育、体験活動、楽しさをテーマとして取り組んでいるユニークな施設でした。さらに、メンバーは大森 海苔のふるさと館(6)で、東京湾で古くから栽培されている海苔について学びました。館内には、実物大の海苔の作業船や歴史的な籠、海苔養殖の発展を象徴する道具などが展示されていました。一行は啓発され、お腹を空かせて東京湾探訪を終えたのでした！



ふなばし三番瀬環境学習館見学(左上)、お台場について学ぶ(右上)。お台場海浜公園からの眺め(左下)、大森海苔資料館を見学(右下)

# 石垣・石西礁湖のサンゴ礁とマングローブ林の保全

11月22日、COASTカードチームは石垣島・石西礁湖での2日半の現地見学のため東京を出発しました。環境省国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター(a)に到着後、チームは環境省の山本博士とCOASTカードチームの日本代表である灘岡教授から説明を受けました。山本博士は、石垣島と西表島の間に広がる日本最大のサンゴ礁である石西礁湖について、同センターと石西礁湖自然再生協議会による保全・再生への取り組みについて説明してくれました。その後、チームはバナナ公園展望台(b)に行き、石垣島と八重山諸島の素晴らしい眺めを堪能したのです。



CARDチームは石垣島・石西礁湖を訪れ、ラグーンのあちこちでシュノーケリングをしてサンゴ礁の状態を観察しました

COASTカードチームは、石西礁湖でシュノーケリングを行い、サンゴの回復が遅く、死サンゴの瓦礫が多い場所(c)、もうひとつはサンゴの被度が比較的良好な場所(d)、さらにシュノーケリングやダイビングによく利用される大崎海岸の近く(e)の様子を直接観察しました。その後、白保サンゴ村(f)を訪れ、等々力流域の人間活動がサンゴに与える影響について勉強し、観察しました。

最終日、チームはナグラ・アンパルのマングローブ林(g)を短期間訪れた後、内陸部に移動し、地元の畜産課の担当者(大久氏)と会って現在の農業や家畜のやり方につ



トビハゼはマングローブの木の根の間に生息する、皮膚呼吸ができるアイドル的な魚です

いて学びました(h)。赤土の流出はサンゴ礁にとって大きな脅威であり、水質の悪化は回復を妨げ、サンゴ礁の健全性を低下させていることが説明されました。農地からの侵食土の流出を防ぐグリーンベルトや、侵食土が海に流れ込む前に受け止める沈砂池など、さまざまな流出防止方法の普及に努めている様子を見学しました。

チームは、肉牛を飼育している地元の畜産農家に会いました。彼は牛の排泄物を農地の肥料として利用し、サンゴに悪影響を与える可能性のある周辺環境への栄養分の流出を減らしています。干潮時に吹通川のマングローブ林(i)を探検し、マングローブの根の間を飛び回るトビハゼ(空気を直接呼吸できるハゼ科の魚)を見つけました。最後に、チームは玉取崎展望台(j)に行き、石垣島沿岸の裾礁の形態的特徴を広く観察しました。

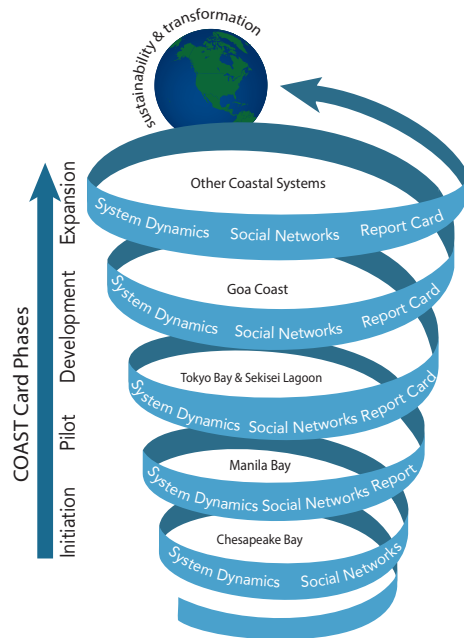
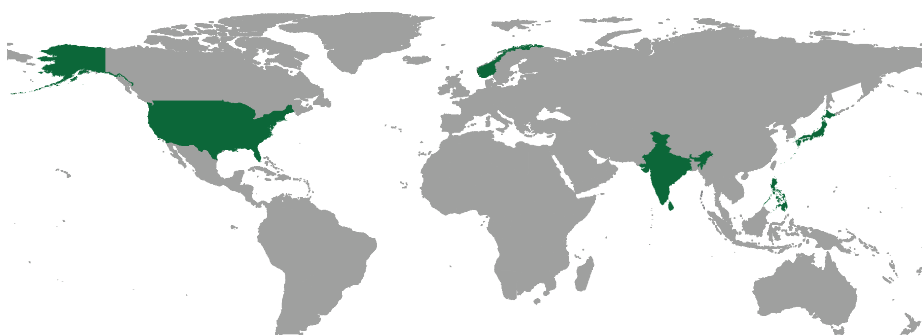


COASTカード・チームと地元の畜産課担当者、畜産農家



# 第2世代のレポートカード

持続可能な社会の実現と社会変革のための沿岸海洋の評価(COASTカード)は、ベルモントフォーラムが資金を提供する国際的かつ学際的なプログラムで、地球規模の持続可能性の課題に対する解決策を育むことを目的としています。社会・生態学的ネットワーク分析(SNA)、社会・環境状況レポートカード(RC)、システム・ダイナミクス・モデル(SDM)という3つのツールを統合した新世代のレポートカード(評価システム)です。これは、チェサピーク湾流域で普及しているレポートカードの枠組みをベースにしており、日本の東京湾や石垣・石西礁湖、フィリピンのマニラ湾、インドのゴア海岸で適用されています。適切な人々(SNA)、一般に入手可能な統合された情報(RC)、そして堅牢なモデル(SDM)を組み合わせることで、積極的な社会環境変化を引き起こすために何が必要かの指針を得ることができるのです。



## 謝辞

Amamo2023の開催にあたり、プロジェクトの出資者である科学技術振興機構、ご協賛いただいたセブンイレブン記念財団、日本テレビ放送網株式会社、東京海上日動火災保険株式会社、公益財団法人東京水産振興財団、国際エメックスセンター、株式会社MAcS、特定非営利活動法人海辺づくり研究会の皆さまに感謝いたします。また共催の公益財団法人笹川平和財団海洋政策研究所にもお礼申し上げます。会議においては、ファシリテーター、プレゼンターの皆様、司会をいただいた佐伯桃子さま、現場でオンラインでご参加いただきました皆さま、ありがとうございました。また、東京湾での見学会においては、東京都港湾局の和田文典さま、安藤彰さま、郷原圭介さま、ふなばし三番瀬環境学習館の小澤鷹弥さま、大森 海苔のふるさと館の小山文大さま、竹芝タウンデザインの星川和也氏の他、谷本理恵子さま、向井梨沙さまにお世話になりました。ここに記して改めてお礼申し上げます。



表紙画像 竹芝干潟(左上)、浜離宮恩賜庭園(中央上)、大森 海苔のふるさと館からのふるさとの浜辺公園(右上)、石西礁湖でのシュノーケリング(左中)、石垣島海上視察(中央中)、お台場海浜公園(左中)、ふなばし三番瀬環境学習館展望台からの三番瀬(左下)、パンナ公園展望台からの石垣島(中央下)、東京湾屋形船(右下)。